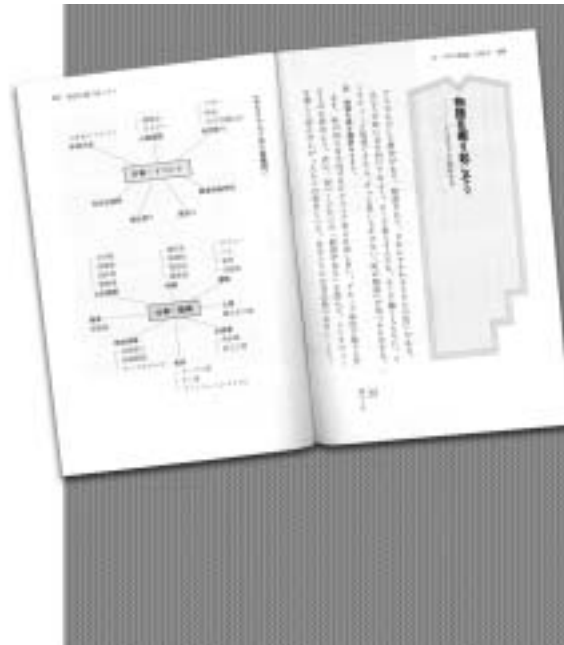


特別な性格をもつ単元のねらいを生かして

町へ出て、職業インタビューをしよう

— 総合的な学習の時間を生かした活動 —

教科書「年報五単元」
「町の物語」を探る
物語を掘り起こす（読・話・聞・六）
インタビューで取材する
物語が走る「ノンフィクション」
物語を伝え合う
まとめ方を工夫する
【十時間配当】



えられる。今回は、「的確に表現する能力」すなわち、学習の成果をまとめ、わかりやすく伝える力の伸長をめざした。

二 観点別評価の進め方

- 「おおむね満足できる」状況と判断するための視点
知りたいことを明確にしてインタビューしている。
また、正確に記録している。
教科書を参考にして語句や表現を工夫し、インタビューのまとめを発表することができる。
- 「努力を要する」状況にある学習者への対応
教科書中の「インタビューするときには」を参考に、グループで十分な話し合いをし、ワークシートに整理し記入させる。
必要に応じて、事前に発表練習をさせ、語句の使用方や表現の工夫について助言する。

一 基本的な考え方

●学習のとらえ方

「二年生の第五単元『町の物語』を探る」は、町に出て「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の三領域を総合させた学習を行う総合単元である。取り組みの難しさから敬遠されがちなこの単元を、「総合的な学習の時間」と連携させて行った計画を紹介する。

本単元『町の物語』を探る」は机に座って学習できる題材ではない。しかし、いざ校外へ出ようとする指導体制づくりなどの課題にぶつかる。そこで着目したのが、「総合的な学習の時間」を利用する方法である。

この方法を実現させるためには、総合的な学習の時間と国語の時間を連携させる年間指導計画の検討が必要となる。ここでは、「総合的な学習の時間」の中の「将来希望する職業インタビュー」を、国語の授業と連携させて計画した。

●この学習で身につけさせたい力

この単元は、さまざまな学習活動を行うことができるものであり、どの観点に焦点を絞った学習活動を計画するかは、そのときの状況によって決定することができる。ただし、学習の進め方によっては、ねらいが曖昧になりやすいため、思いきって焦点を絞ったほうがよいと考

三 指導と評価の計画例（九時間）

（国語で六時間、総合的な学習の時間で三時間）

第三週			第二週			第一週			週
									授 業
									国語の時間
									『物語が走る』を読む。
									『物語が走る』を参考に、インタビューの計画を立てる。
									インタビューの内容を検討し、分担を決める。
									インタビューの内容を振り返る。
									別単元の授業
									別単元の授業
									別単元の授業
									職業インタビューをした結果をまとめ、グループでどのような発表をするか話し合う。
									発表のための準備をする。
									別単元の授業
									別単元の授業
									別単元の授業
									自分たちの発表を聞き合った感想をまとめ、自己評価する。
									インタビューの発表会をする。

四 この学習のポイントとなること

第一のポイントは、「総合的な学習の時間」の年間指導計画と、国語の学習の年間指導計画をリンクさせたことである。国語科として独自に総合的な題材を用意するのではなく、「総合的な学習の時間」で扱っている題材の国語科としての側面を、国語の時間で扱うのである。

ここで大切になるのは指導者のスタンスである。「総合的な学習の時間」と国語科の学習を総合化させたものとは、内容的に重なりがあるのは確かだ。しかし、「総合的な学習の時間」と「国語科」とでは指導者のスタンスが異なる。「総合的な学習の時間」は、学習者が身につけている力を主体的に働かせる時間だが、必修教科は指導によって学力を身につける時間なのである。国語の学習として扱う場合は「総合的な学習の時間」で扱う場合よりも、ねらう学力を身につけさせるというスタンスをとる必要があるだろう。

第二のポイントは、間歌的に学習時間を設定したことである。一般的にいえば、学びの連続性を重視したほうが学習の効率や定着がよいことが多い。しかし、今回はあえて、国語の学習に充てる時間を連続させなかった。このようにした理由は、「総合的な学習の時間」の進度に合わせたという面もあるが、間隔をあけることによつ

て家庭学習など、授業以外の時間を利用しやすくしたという面もある。

今回、国語の時間として計画を立てた時間数は六時間である。しかしこの六時間の授業は連続で行わず、総合的な学習の時間の進捗と並行して計画を立てた。間隔をあけることで、生徒は次の時間までに必要な準備を各自することが出来る。特に総合単元の場合、最後のまとめが発表であることを考えると、授業で学習した活動を振り返り、さらに発展させるための期間・まとめの期間が必要となってくる。単に国語の時間だけの作業とはしないことで、生徒にとっての学習の時間は大幅に増えることになる。

総合単元は、ほかの学習材と同じように扱えない要素がたくさんある。そのため、敬遠されがちな授業、または教科書の文章を読解するだけの学習になりがちである。

しかし、与えられた題材や机上での学習ではなく、「子どもが自分の興味に基づき実際に活動をして得た題材による学習活動」は、自発的・積極的に活動しようとする力もまた養うことができる。ぜひ今後検討し、学習活動に取り組んでもらいたい単元である。

インタビューを計画しよう

2年 組 番 氏名

1. インタビューって何？ 質問とどう違うかを考えてみよう。
2. 事前にどんな準備が必要かを考えてみよう。
3. インタビューするときに注意することを考えてみよう。
4. インタビューが終わった後することを考えてみよう。

インタビューの内容を発表しよう

2年 組 番 氏名

1. だれに、どんなことをインタビューしたのか？
2. インタビューのねらいは？
3. 事前の準備や役割分担は？
4. インタビューするときに注意したことは？
5. インタビューをして得たこと・気づいたこと・感じたことは？

インタビューが終わった後、

《インタビューを通して総合的な学習の時間を生かすワークシート例》